



本資料は、米国アッヴィ社が2019年7月26日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2019年8月1日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com)をご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

## PRESS RELEASE

2019年8月1日

### アッヴィ、2019年第2四半期の業績を発表

- Allerganと買収の合意に至ったことを発表しました。これにより、新たな治療領域を持つことで、アッヴィの収益基盤が大幅に拡大および多様化し、また長期的な研究開発資金の基盤が強化され、イノベーションへの継続的な投資が可能となります。
- 2019年第2四半期の希薄化EPSはGAAPベースで0.49ドルでした。調整後希薄化EPSは2.26ドルでした。
- 2019年第2四半期の売上高は、GAAPベースで0.3%減の82億5,500万ドルでした。調整後売上高は、報告ベースでは横ばいで、営業ベースでは1.5%増でした。
- 2019年第2四半期のヒュミラ®の米国での売上高は、7.7%増の37億9,300万ドルで、米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで35.2%減、営業ベースで31.0%減の10億7,700万ドルでした。
- 2019年第2四半期の血液腫瘍領域の売上高は、報告ベースで38.7%増、営業ベースで39.1%増の12億6,800万ドルでした。第2四半期のイムブルピカ®\*の全世界での売上高は29.3%増の10億9,900万ドルで、その内訳は、米国内が8億8,600万ドル、米国外が2億1,300万ドルでした。VENCLEXTA(一般名ベネトクラクス)の全世界の売上高は、1億6,900万ドルでした。
- 2019年第2四半期のHCVの全世界の売上高は、報告ベースで19.4%減、営業ベースで17.1%減の7億8,400万ドルでした。
- 2019年のGAPPベースの希薄化EPSの見通しを、第2四半期に承認を取得したスキリージ®の条件付対価の非現金費用も含め、中間値における56.8%の上昇を反映し7.26~7.36ドルから5.69~5.79ドルへと修正しました。2019年の調整後希薄化EPSの見通しを、中間値における12.1%の上昇を反映し、8.73~8.83から8.82~8.92へ上方修正しました。

\*日本ではヤンセンファーマ株式会社が販売



米国イリノイ州ノースシカゴ、2019年7月26日—アッヴィ(NYSE: ABBV)は、2019年第2四半期(2019年6月30日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼 CEO のリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「好業績が持続している背景には、第2四半期の売上高および調整後 EPS とともに予想を上回る結果、そして当社のビジネスの規模拡大と多様化を生み、長期にわたってアッヴィをトップクラスに位置づける Allergan の買収計画の発表があります。年初からの好業績および第2四半期の見通しに対する自信を基に、2019年通年の売上高と調整後 EPS ガイダンスを引き上げてまいります」

## 第2四半期の業績

- 全世界の売上高は、GAAP ベースで 0.3%減の 82 億 5,500 万ドルでした。調整後売上高は報告ベースでは横ばいで、営業ベースで 1.5 %増でした。
- ヒュミラ®の全世界での売上高は、報告ベースで 6.1%減、営業ベースで 4.8%減の、48 億 7,000 万ドルでした。米国内でのヒュミラ®の売上高は 7.7%増の 37 億 9,300 万ドルでした。米国外では、バイオシミラーの影響を受け、報告ベースで 35.2%減、営業ベースで 31.0%減の 10 億 7,700 万ドルでした。
- 血液腫瘍領域の全世界での売上高は、報告ベースで 38.7%増、営業ベースで 39.1%増の 12 億 6,800 万ドルでした。イムブルビカ®の全世界での売上高は 29.3%増の 10 億 9,900 万ドルで、その内訳は、米国内が 8 億 8,600 万ドル、米国外が 2 億 1,300 万ドルでした。VENCLEXTA(一般名ベネトクラクス)の全世界の売上高は、1 億 6,900 万ドルでした。
- HCV の全世界での売上高は、報告ベースで 19.4%減、営業ベースで 17.1%減の 7 億 8,400 万ドルでした。米国では、6.2%減の 3 億 9,600 万ドルで、米国外では、報告ベースで 29.5%減、営業ベースで 25.4%減の 3 億 8,800 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 78.0%でした。調整後売上総利益率は 82.7%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、20.0%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 19.6%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、15.6%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、パイプラインへの投資を反映し、14.9%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 41.2%でした。調整後営業利益率は 48.2%でした。
- GAAP ベースで、純支払利息は 3 億 900 万ドルでした。GAAP ベースの税率は、8.1%でした。調整後の税率は、8.7%でした。
- 希薄化 1 株当たり利益は GAAP ベースで 0.49ドルでした。特定項目を除く、調整後希薄化 EPS は、2.26ドルでした。
- スキリージ®の将来のマイルストーンやロイヤルティの支払いに関する条件付対価の公正価値変動額 23 億ドルを計上しました。これは主に、第2四半期に承認を取得したスキリージ®のリスク調整後の将来キャッシュフローの見込みの増加および割引率の低下によるものです。



注意：「営業ベース(Operational)の対比は恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)

<https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-first-quarter-2019-financial-results.htm>

## アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、がん、C型慢性肝炎などのウイルス感染症およびニューロサイエンスの4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com) をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

## アッヴィ 今後の見通しに関する記述

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する記述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する記述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する記述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する記述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。

アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission(米国証券取引委員会)に提出済みのアッヴィの2018年度アニュアルレポート(10-K書式)の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する記述を更新する義務を負わないものとします。